

特集

丹波広域基幹林道の管理が府から市へ

丹波広域基幹林道は第3次、第4次京都府総合開発計画および新京都府総合計画に基づき、丹波地域の林業生産基盤の拡充を図り、森林の適正な管理を進め、地域の振興を図るための事業として、京丹波町下山から丹波林業地域の中央を東西に横断し、京都市左京区花脊大布施町に至る総延長約65kmの林道で、事業期間は昭和60年度から平成25年度です。

未着工部分は現在工事が行われており、進捗率は98・5%で、舗装は53%が完成しています。

府は完成後に関係市町（京都市、南丹市、京丹波町）に移管を予定していましたが、早期に完成している工区について、

では、丹波広域基幹林道推進協議会の幹事会および専門部会での協議を踏まえたうえで、24年度にも一部移管の意向を示しています。

移管後は維持管理を市が行うことになり、本市の管理延長は総延長約65kmのうち約25km（約38%）となります。

工事終了後10年以上経過し、比較的法面が安定しているように見受けられる箇所でも法面の崩落しているところが多く見受けられ、現在も復旧工事が行われています。

移管を受け入れると多額の維持管理費が必要となり、財政難である本市には大きな負担となることが予想されます。



林道の現地調査



崩落現場



舗装された箇所

特別委員会中間報告

▼広報特別委員会

本委員会は、議会だよりの発行はじめ広聴に関する調査を行ってきました。延べ55回にわたり委員会を開催し、議会が行うさまざまな活動を、広く市民に情報提供していくことを目的に「市議会だよりなんたん」を第17号から第23号まで発行してきました。毎号を全戸配布する一方、市内の医療機関等の施設に送付して配架を依頼してきました。

発行に当たっては、市民にわかりやすい議会情報を提供できるよう、情報の受け手側に立った発想を持ち、効果的な編集を考慮し、議会広報の充実を図りました。

また、より良い議会広報活動の調査研究のため、22年11月11、12日に兵庫県篠山市議会、徳島県那賀町議会へ、23年10月24、25日には長野県佐久市議会、同県東御市議会へ先遣地視察を行いました。これらの視察を通して、紙面による広報のみならず、インターネットやケーブルテレビなどの情報通信機能を活用した広報や、議員による議会活動の報告会等を通じた広聴活動が大



議会だより第17号から第23号

切であることを実感しました。今後の議会広報のあり方として、ケーブルテレビによる議会中継等による「速報性」に加え、インターネット等を活用した「利便性」を重視することが必要と考えます。



東御市での視察

切であることを実感しました。今後の議会広報のあり方として、ケーブルテレビによる議会中継等による「速報性」に加え、インターネット等を活用した「利便性」を重視することが必要と考えます。

今後、より多くの市民に議会活動を知ってもらうため、広報活動の推進に取り組み、親しみやすい議会広報紙の発行を目指し、併せて、市民からの意見を汲み取れるような広聴活動を展開していくことが重要であり、今後も調査活動を継続していきます。

▼議会活性化対策特別委員会

本委員会は市民に開かれた議会、市民にわかりやすい議会を基本理念として議会の活性化に向けて議論を重ねてきました。



12月議会一般質問

調査項目は、前期委員会からの申し送りの3項目（議会基本条例の制定・議会運営の課題・情報公開）と新たに議会報告会の開催を加えた4項目を重点調査事項とした。

①議会基本条例の制定

条例ありきの議論とするべきでなく当面の課題克服をする中、方向性が見えてくるものと考え、今は素地を構築する時との共通認識を持ちました。

②議会運営の課題

一般質問については一

③情報公開

本会議の生中継については慎重かつ多角的に議論

④議会報告会の開催

議会では情報を可能な限り提供し、市民との距離を縮め議会をより理解していただくことが重要です。そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。



対面する質問者と答弁者

を進め、実施するべく前向きに検討することで合意しましたが、広報委員会と連携も必要であり、後期委員会に申し送り、早期の対応を求めます。

④議会報告会の開催

議会では情報を可能な限り提供し、市民との距離を縮め議会をより理解していただくことが重要です。

そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。

そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。

そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。

そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。

そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。

そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。

そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。

そのためには議会が地域に向き市民の生の声を聞くことが大切であり、本年2月から議会懇談会を開催することとしました。